



特集：第8回体育大会



笑顔満開の秋らしいさわやかな一日となりました。



「夏休み・体育大会を終えて思うこと」

神河中学校PTA副会長 千葉 豪一

娘もいよいよ3年生となり、修学旅行や総体などの大きなイベントが終了し、はや半年が過ぎようとしています。総体については、本人にとっては不本意な結果となったようですが、「悔いは無い」と言い切ってくれましたから、仲間と共に頑張った2年半は、とても価値のあるかけがえのない時間になったこと思います。残りの時間もみんなと大切に過ごしてもらいたいと思っています。

そんな総体が終わり、部活動を引退したら、夏休み中に家族全員で旅行に行こうと、年明け早々から計画を立てていたのですが、無事決行することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。特に私の中での一番の思い出は、娘と2人での買い物中、本人の気持ちもリラックスしていますから、会話の中に出てくる勉強や友達への素直な気持ち、普段見ることのない行動や姿を垣間見ることができ、まだまだ子供と思っていた娘もしっかり成長しているのだと感じることができたことでした。

夏休みが終わり、先日体育大会が行われ、娘も沢山のプログラムに参加させて頂きました。家に帰ってきてからは、「めっちゃしんどかったんやでえ」とブーブー言いながら疲れ果て、すぐ眠りに落ちてでしたが、私にとっては、体力面、精神面において、旅行とは違う、また別の角度で娘の成長を見ることができ、とても良い1日となりました。

お恥ずかしい話ですが、忙しさにまけて普段会話する機会も少なく、なかなか普段の生活から子供の成長をうかがうことができておりません。そのような中、旅行や体育大会が子供の成長をうかがうことのできた大切な時間であったと実感したとともに、もう少し積極的にコミュニケーションを取らなきゃ…と、今さらながらに情けないことを反省、気付かされた機会となりました。計算すると、娘と顔を合わせている時間は1ヶ月約50時間、今後もっと少なくなっていくから大事にしていきたいと思います。

最後になりますが、先生の皆様におかれましても、お仕事とはいえ、私達同様ご家族がおられる中で、部活動はじめ、これまで沢山の時間を割いて頂き、感謝と共に改めてお礼を申し上げます。そしてあと半年、お世話になりますが、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

「体育大会を終えて」

神河中学校教頭 雑倉 孝司

9月16日、秋らしいさわやかな天候のもと第8回体育大会が行われました。雨天により1日延期となりましたが、結果的に日曜日開催となったことで、多くの御来賓や保護者の方々にお越しいただくことができました。にぎやかな体育大会となりましたこと、大変ありがとうございます。

今年は神河中学校体育大会にとって大きな転機の年となりました。これまで大部分の種目は教師主導型で、生徒は教師から指導されながら体育大会に取り組んできました。それを昨年から、生徒がリーダーとなって主体的に取り組むことを主流とし、「生徒による、生徒のための体育大会」へと大きくシフトすることとしました。特に今年は、生徒たちが自分たちの手で作り上げる体育大会を通じて、一人一人が集団への所属感を感じ、達成感や満足感、自己有用感を実感できることを目指しました。

これにともない、本年度は、体育大会の内容にも大きな変化がありました。これまで長年実施してきた組体操やダンスなどの種目を、応援合戦や連合対抗種目といった、生徒が考え、自分たちで完成させていく種目へ切り替えることになったのです。

生徒たちは夏休み中から何度も実行委員会を繰り返し、意見を出し合う中で、競技の内容やルール、練習の手順を考えました。実際の練習においても生徒リーダーが指示を出し、運営します。生徒たちは戸惑いながらも懸命に取り組みました。この間、教師はできるだけ手を出さず、最小限のアドバイスと見守りに徹しました。

体育大会当日はその取り組みが見事に発揮されました。初種目であった応援合戦はどの連合も工夫を凝らしたパフォーマンスを繰り広げ、1年生から3年生まで一致団結して取り組んでいました。また、連合対抗綱引きでは同じ連合の他学年を大きな声で応援し、学年の枠を越えた団結を深めることができました。学級対抗の種目でも1年生から3年生までが一丸となりテント席から声援を送っていました。

生徒たちはこの体育大会を通じて、神河中学校生としての一体感を強く感じ、学年間の絆を大いに深めるとともに、充分に自主性を発揮してくれました。一人一人が「生徒による、生徒のための体育大会」を実感してくれたようです。閉会式後、何人かの生徒に声をかけましたが、みんな口々に「楽しかった！」と目を輝かせて応えてくれました。

今年、新たな一步を踏み出した神河中学校の体育大会。大会スローガン「新たな伝統へ」とおり、今年の生徒たちはしっかりとその足跡を残してくれました。この経験を体育大会はもちろん、それ以外の場面でも活かし、生徒たちが大きく成長していくことを期待したいと思います。

「最後の体育大会を終えて」

体育補導部副部長 足立 摂子

中学校最後の体育大会は雨で一日延期となりましたが、当日は秋めいた感じではなく、時折、夏に逆戻りしたような日差しが差す中で行われました。

「生徒による生徒達のための体育大会」の実現という試みのもとに、演技も考えられており、その中でも今年度初めての応援合戦に感動しました。息子は全学年1組の応援リーダーを任されることになり、最初は恥ずかしさや不安もあったようですが、クラスの応援リーダーの仲間で応援合戦の内容（優勝する意気込み）やダンスを考え、実際にダンスの練習を始めると、しんどいけれど仲間と一緒に出来ることが楽しいと、一生懸命でした。ただ、体育大会の練習が始まってから、天候に恵まれず満足のいく全体練習が出来ないと嘆いていたので、当日少し心配していました。でも、いざ応援合戦が始まると、こちらの心配も何のそので三学年が一体となり大きな声を出し、難しいダンスもみんなが一生懸命で学年の垣根を超えたつながりを感じることができました。2組、

3組もそれぞれ違った個性の応援合戦で、本当に短い練習時間で一体感のある演技が出来る子供たちのたくましい姿に感心、感動しました。

自分たちで作り上げた自分たちの体育大会は、子供たちの心に残るとともに成長につながるのではないかと思います。

子供の成長を見つつ、嬉しくもあり、私にとっても中学校最後の体育大会は寂しくもありました。

「 础 」

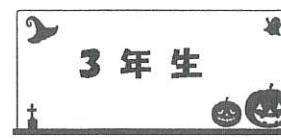
3学年主任 古河 ひとみ

第8回体育大会が、今年も無事に終わりました。今年のスローガン「《 新たな伝統 》～我らの青春ここにあり 神河ハンパないって！！～」の下に、全校生297名が精一杯の演技を繰り広げました。各カラー連合の体育大会は今年で2年目になりますが、特に今年は「生徒たちの、生徒たちによる、生徒たちのための体育大会」と謳い、指揮も指導も生徒たち主導で行われる体育大会でした。また、昨年までの組体操やダンスといった種目は姿を消し、新たに綱引きや連合毎に行われる応援合戦が新種目になりました。

夏休みから、連合のリーダーは応援合戦について時間をかけて話し合い、試行錯誤を重ねながら、また、練習をしながら各カラーの形を作り上げていきます。リーダーになった生徒たちは、1・2年生の指導も含め、隊形や全体のバランス作りなど大変苦労したことでしょう。しかし、当日の仕上がりはどの連合も素晴らしいものでした。3年生の「自分たちの体育大会だ」という思いがびっしりと詰まっていました。

この応援合戦は、今後、神河中学校体育大会の伝統となることでしょう。その伝統の礎を8回生が築き上げたことを大変嬉しく思います。各種目の応援の時もみんなで力を合わせ、学年を越え、とびきりの笑顔で、まさにこれぞ生徒主体の体育大会でした。これもひとえに、ご家庭の応援や温かい励ましがあればこそだと思います。本当にありがとうございました。

さて、いよいよ3年生は進路の獲得に向けて頑張るときがきました。その時に見せてくれた団結力と（受験は団体戦といわれています）、ここぞというときに発揮するパワーで後半戦を戦ってくれることと思います。どうか、応援をお願い致します。3年生の生徒たちよ、最後の最後までがんばれ！！



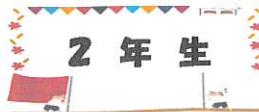
◎今年は、応援合戦や綱引きが加わり、3年目の私たちも新しくてワクワクする反面、時間が少ないので大丈夫かな

という不安もありました。私は副団長で、最初は「楽しそうだし、いいか」と軽い気持ちで始まりました。でも、やってみるとすごく大変で忙しくて、正直とてもしんどかったです。人に教える難しさや、思いを伝える難しさを知りました。本番が近づくにつれてみんなの気持ちもまとまり、本番では大成功だったと思います。大きな達成感を感じることができ、とても良い経験になりました。結果は少し悔しかったですが、楽しむことができ、思い出になりました。ハンパない体育大会になったと思います。クラスのみんなや先生方の協力があってこそだと感じました。ありがとうございました。



◎今年の体育大会で印象に残ったのは、やっぱり競走競技にいつもより多く出たことです。2組は女子陸上部がいなくて、ほかのクラスより確実に不利でした。でも、出たくない人も $4 \times 100\text{m}$ リレーに出たりして、協力して頑張れたので良かったです。応援合戦は、今年初めてなのに、警報で練習期間が短くなってしまって不安でした。でも、応援リーダーの人が、夏休みの間に一生懸命考えて教えてくれたおかげで、本番では完璧にやりきることができました。予行の時は、ぐだぐだでただの練習みたいになってしまったけど、短期間でしっかり仕上げることが出来て良かったです。とても楽しい体育大会でした。

◎今年の体育大会は連合種目が増えて、今までの体育大会でいちばん他学年を応援したなあと感じました。ダンスや組体操がなくなり、応援合戦が種目として加わり、最初はどうなるんだろうと心配でした。でも、練習が始まるとみんなで踊るのがすごく楽しくて、不安とともに吹っ切れました。本番では、学年でも連合でも優勝できてめっちゃ嬉しかったです。テントでみんなで応援してくれたのもとても力になりました。結束力が強くなつたなあと実感できる最後の体育大会になって良かったなと思いました。



◎中学生になって2回目の体育大会なので、不安や緊張はあまりありませんでした。でも、自分が出る種目になるとスタート前はとても緊張して、こけずに最後まで走れるか心配になりました。心臓のバクバクがやばかったです。それでも、テントで応援してくれている人の声援のおかげで最後まで走ることができました。走っている側は応援している側の声は聞こえないかもしれませんけれど、それでも「応援」の力はものすごく強いんだなと思いました。これからは、応援することを恥ずかしがらずにしたいと思いました。全員リレーは直前に順番が変わって、本番に上手く走れるか心配だったけど、無事にバトンをつなぎゴールすることができたので良かったです。みんなでジャンプは2年生の中で2位だったので、うれしかったです。来年は中学生最後の体育大会なので、悔いが残らない良いものにしたいです。

◎体育大会の日は、1日中とっても楽しかったです。連合優勝はできなかったけど、学年優勝ができたのでうれしかったです。円陣を組んだり、クラスの応援や連合の応援と充実していく楽しかったです。全員リレーは熱戦を制し、1位だったので、クラスの結束力が結果に残って良かったです。生徒会ダンスのジェンカでは、とっても盛り上がって「もう体育大会が終わるのか・・・」とさみしく感じました。来年は、私たちが主となって計画していくので、頑張りたいです！！

◎中学校生活2度目の体育大会が終わりました。警報が出たりして練習があまりできなくて、少し心配していたけど、どの競技も成功したので良かったです。いちばん心に残ったのは全員リレーです。何度も走っても1位の2組には勝てず、大会当日もあと少しの差というところで2位でした。でも、クラス全員の力を合わせてやる競技の一つなので、全員でバトンをつなぎゴールしたという達成感をすごく感じました。みんなでジャンプは何度も引っかかるしまって、少ししかとべなかったけど、全員で楽しめたので良い思い出です。

今年の体育大会は、学年優勝は逃したけれど、連合総合優勝ができた良かったです。最高に楽しい体育大会でした。



◎体育大会の練習の時も、予行・本番の時も、みんなで協力してできたのでよかったです。はじめての体育大会で、小学校とはやることがちかっていて、よくわからなかつたけれど、実行委員の人たちが、説明してくださったのでよくわかつた。応援の時、3年生の応えんリーダーの人が毎日、ダンスを教えてくださつて、わかりやすかったので、本番も、まちがえずにできた。全員リレーでは、1位がとれて、みんなで協力してできた結果だと思った。来年は2年生になっての体育大会。1年生の見本にも、3年生の支えにもなって、体育大会をしたいと思った。

◎体育大会を終えて、まず、初めての体育大会だったので、体育大会がどんなものなのかを知ることができました。特に印象に残っているのが、小学校との違いです。例えば、ダンスなどの演技種目が少なく、 100m 走やリレーなど、競走種目が多いところが印象に残りました。

また、今回から組体操とダンスがなくなりましたが、その他の種目も魅力がたくさんあって、初めてでしたがとても楽しい体育大会になりました。今回自分は、 $4 \times 200\text{m}$ リレーとトランスマッパーに出場しました。来年は、他の種目にも挑戦したいなと思いました。来年は我々が体育大会を実行するようになるので、頑張りたいなと思いました。

◎3組の学級目標は「明笑団結」です。この目標のもと、何事にも明るく前向きに取り組むことを意識して練習していました。私は足を怪我していて、あまり練習に参加できなかつたけど、応援や旗振りなど、自分にできることを精一杯頑張ろうと決めていました。 200m 走に出場予定だったのに出られなくなつて、かわりに走ってくれた子に感謝しないといけないと思いました。

私が印象に残っているのは、全員リレーです。みんなでバトンをつなげるのがハラハラして楽しかったし、無意識のうちに「頑張れ！」と口にしていました。最後の最後に抜かされたけど、みんなも自分の力を出し切り、充実した表情をしていました。私が出られた演技種目は、応援合戦と生徒会ダンスです。応援合戦では、3年生のリーダーに教えてもらった振り付けで踊りながら、「Y・M・C・A」などと叫ぶのが楽しかったです。学年でも連合でも1位になるという予想以上の結果にとてもうれしくなりました。クラスの絆が深まつたことを実感できた体育大会でした。



文化・研修部のみなさん

『夏休み、体育大会を終えて』

金川 和美

中学校に入学して2回目の夏休み、近年気温が異常に高く連日のように「高温注意報」が出ていました。その中で、何とか大きなケガもせずに過ごせたことは良かったです。毎日学校から帰ってくると、顔が真っ赤になって汗だくになつても、笑顔で「ただいま」と言ってくれると安心しました。とにかくお茶だけはたくさん持つて行かせるために、姉の分と合わせて6リットル毎日作っていました。今問題になっている熱中症にならない様に、毎日心配していました。一緒に部活をしている先生方が注意してくださいましたおかげで、無事に楽しい夏休みを過ごせたと思います。私生活では、部活のあった日はさすがに疲れて、外出する元気は無かったです。休みの日もこの夏の暑さのせいで、ほぼ一日中家にいました。春頃は友達とグランドで野球をしたりよく外出していたので、涼しくなってきたら、またみんなで野球をしたりして遊ぶと思います。体力があり元気一杯なはずの中学生ですら、この夏の暑さは厳しかったようです。

今年の体育大会は姉の部活の用事で行けなくて、子供には申し訳なかったです。毎年楽しみにしている部活動行進が見られなくて残念でした。見に行けなかつた分、子供からたくさん聞きました。リレー、ダンス、大縄跳び、子供はすごく楽しかったと言っています。毎年あった種目が無くなったりしているのは、これも時代の流れかなあとしみじみ思っていました。私が中学の時は、親は全く行かなくて、生徒達だけで行っていました。だから私が神河町に来た時にびっくりしました。でも、こうして保護者の方々と一緒に行う体育大会は、にぎやかで楽しいと思います。来年は姉も息子も部活動を引退していると思うので、ゆっくり見られるのを楽しみにしています。今回私はPTAの役員なのに、行けなくて申し訳なかったです。

『親としての願い』

細岡 三由紀

暑く長い夏休みも終わり、二学期が始まりました。体育大会も一日延期となりましたが、無事行われて良かったと思います。家に帰つてから、頬や鼻の辺りがこんがり焼けた子どもの顔を見ていると、中学校三年生の時の運動会で、担任の先生を不思議の国のアリスに変身（コスプレ）させたことを思い出しました。この子にとって楽しい思い出になればいいなと思いました。

いつも学校から帰つてくると、「ふう」とため息をつき、「疲れた」と一言。「おかえり」と言つても、返つてくるのは「お腹すいた。ご飯、何？」です。そんな子どもに物足りなさを感じつつも、私も中学生の頃は、こんな感じだったのかもしれない、昔を振り返つたりもします。私自身、子どもに対して無茶な期待はしない、していないつもりですが、私の“頑張れ”という思いが、言葉になった時、すごく嫌そうな顔をする子供を見ると、余計にイラッとしてしまう時があります。私もきっと親として、まだまだ未熟なのでしょう。家庭と仕事を両立させたいと思っていても、すぐに息抜きしたいと思ってしまいます。そういう所は私に似たのでしょうか。子は親の鏡と言いますから。それでも後悔はしてほしくありません。親の勝手な押しつけになるかもしれません、残りの中学校生活、楽しいことはもちろん、苦手なことも、振り返つた時、いい思い出になるように、自分にできる精一杯の力で頑張ってほしいと、親として願うものです。



『夏休みを終えて』

正城 真澄

今年の夏は各地で甚大な被害が発生した記録的な豪雨に始まり、今まで経験した事のないような猛烈な暑さに、逆走台風と異例づくしの天候でした。神河町にも特別警報が出され総体が延期されました。娘の入っている吹奏楽部でも、台風の影響でコンクールが3日延期されました。

娘は夏休みに入ってすぐにワーク系の宿題を終わらせ、7月末の西播吹奏楽コンクールに向か、今年こそはと金賞めざして毎日部活に励んでいました。結果は惜しくも銀賞でしたが、演奏が終わった後の記念撮影の時の満足感あふれるみんなの笑顔がとても素敵でした。2年半頑張ってきたすべてを出し切つて、悔いのない演奏が出来たのだと思います。ピアノを習つたことはなく、入部したての頃は楽譜も読めず、まさに右も左もわからぬ状態だったと思います。一年生の頃は音域も狭く、きれいな音がなかなか出せず苦労していました。上下関係の厳しさに直面して、辞めたくなったり辛くなったりした事もあったのではないかと思います。それでも愚痴ひとつ言わず、毎日部活を頑張っていました。時々楽器を家に持ち帰り自主練をしていましたが、少しずつ上達がみられ、よくここまで頑張ったなど娘の成長を嬉しく思います。

コンクールが終わるとすぐに到達度テストがあり、補習もはじまり、夏休みとはいえ、また毎日学校に通っていました。記録的な猛暑にもかかわらず、全国の公立小中学校でクーラーが設置されている教室は半数にも満たないと報道されていましたが、神河中学校では快適な環境で勉強ができ、とても恵まれていると思いました。

中学校生活最後の夏休みが終わってしまいましたが、充実した夏休みを過ごせたと思います。卒業まで半年、貴重な時間を大切に、頑張って欲しいと思います。

寄稿してくださった皆さん、ご協力ありがとうございました。

